

# まちかど アルバム



## 鳥取市総合防災訓練

### 佐治小学校など市内一円

鳥取大地震からちょうど65年となる9月10日(水)、市内一円で「鳥取市総合防災訓練」が行われました。会場の一つ、佐治小学校では、児童や地元消防団、住民など約500人が参加。倒壊した家屋の下敷きになった負傷者を運び出す訓練を行ったり、テントの中で火災の煙を疑似体験したりしました。みなさんも今一度、災害に対する備えを点検してみてください。

## 泣いたら"勝ち"よ

### 賀露町

賀露神社で9月7日(日)、「赤ちゃん泣き相撲」が行われました。先に泣いた方が勝ちという一風変わったこの相撲に、1歳前後の赤ちゃん力士78人が出場。大人の力士に抱えられ、「はっけよい」の掛け声とともに頭上高く持ち上げられると、すぐに泣き出す子もいれば、楽しそうに笑い始める子も…。ほほえましい光景に、見守っていた家族や観客は終始笑顔でした。



## 子どもたちが狂言を体験

### 稲葉山小学校

9月8日(月)、「本物の舞台芸術体験事業」が稲葉山小学校で行われ、子どもたちが室町時代から続く伝統芸能「狂言」を体験しました。「草(くさびら)」という演目には、三宅狂言会の狂言師のほか、6年生10人と先生1人も出演。編みがさとお面をかぶったキノコ役の子どもたちが、こっけいな動きで会場を笑わせていました。参加者の1人、だにぐちじゅんし谷口純士君は「いい経験になった。礼儀の大切さを今後の学校生活に生かしたい」と語りました。

## 盛況！いなばの「お袋市」

### 鳥取駅前

恒例の「いなばの『お袋市』」が8月24日(日)、JR鳥取駅前のサンロードで開かれました。昨年4月に始まり、駅前の朝市としてすっかりおなじみとなった「お袋市」。地元商店や生産者らが出店するなか、湖陵高校の生徒たちも学校の畑で採れた野菜などを笑顔で販売していました。たくさん売れるといいですね。いなばの「お袋市」は毎月第4日曜日、午前7時から開催。



## 第 11 回因幡の傘踊りの祭典

### 因幡万葉歴史館

傘踊り発祥の地、鳥取市国府町の因幡万葉歴史館で8月31日(日)、「因幡の傘踊りの祭典」が開催されました。11回目となる今年の祭典には、県内外から18団体が出演。鳥取県無形民俗文化財の「因幡の傘踊り」をはじめ、しゃんしゃん傘踊りや手笠踊りなど、さまざまな傘踊りが披露されました。集まった約千人の観客は、華麗で勇壮な傘の舞いに惜しみない拍手を送っていました。



## かちべ豆腐百珍

### 青谷町

江戸時代の料理本「豆腐百珍」を参考に開発した「かちべ豆腐百珍料理」が完成し、8月28日(木)、試食会が行われました。これは、青谷町勝部地区の主婦でつくる「豆菜会」が地域おこしになればと企画したもので、全10品からなる料理には、手作りの豆腐や地元の農産物がふんだんに使われています。この料理に関する問い合わせは、かちべ伝承館(0857-87-0515)まで。



## 一打入魂

### 白兔

「第23回グラウンドゴルフ大会」が9月2日(火)、白兔グラウンドゴルフ場で開催されました。市民相互の交流と健康増進を目的に毎年開催されるこの大会に、今年は約500人が参加。6人1組となり、全16ホールで日ごろの練習の成果を競いました。みなさん、少しでも良いスコアを出そうと、その表情は真剣です。



## 青空の下、<sup>じゅうぼうじ</sup>驚峰路を駆け抜ける

### 鹿野町・気高町

8月31日(日)、「第4回鳥取市西部地域交流駅伝競走大会」が開催され、気高町の逢坂地区公民館を発着点に鹿野町の旧小驚河小学校前を折り返す15km、6区間のコースで、参加した18チームが自慢の健脚を競いました。なかには、大人に負けじと一生懸命走る小学生ランナーもいて、沿道の人々を沸かせていました。結果は、地区対抗の部で鹿野町の「勝谷地区」チームが、各種団体の部で「ふれんず鳥取B」チームが優勝しました。



## 華麗なジャンプを競う

### 鳥取砂丘

鳥取砂丘で9月6日(土)と7日(日)、「第4回全日本サンドボード選手権ストレートジャンプ大会」が開催されました。砂丘の急斜面を滑降、高さ約1mのジャンプ台から飛び出し、飛距離や空中姿勢、着地の正確さなどを競うこの競技。全国から集まった54人の選手は、日本海に向かって飛び込むようなスリルを味わいながら、クラブ(ボードを手でつかむこと)など自慢の技を披露していました。

